

主催：一般社団法人 蔵前工業会、共催：国立大学法人 東京科学大学  
第48回蔵前科学技術セミナー

# 防災と医療

2024年10月5日(土) 13:00～

講演会  
無料

蔵前工業会は大学との共催で、科学技術に関するセミナーを毎年開催しています。10月1日、東京科学大学が誕生します。そこで今回のテーマは「防災と医療」です。この社会課題へ取り組まれている、東京工業大学と東京医科歯科大学の先生方にご登壇いただき、最前線での活動についてご講演いただきます。どなたでもご参加いただけます。大学生・高校生・一般のご参加を歓迎いたします。

## 多元レジリエンス研究センターの紹介とその取り組み

東京工業大学多元レジリエンス研究センター長・教授  
吉敷 祥一 先生



## 災害時のストレスとケア

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院・教授  
永岑 光恵 先生



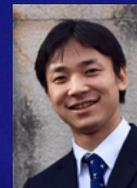
## 仲間と共に歩むこれからの災害対策～医療の現場からの提案～

東京医科歯科大学病院・病院長補佐、災害危機管理部・部長  
植木 穰 先生



## 我が国の災害医療の変遷から考える、その本質とは

元厚生労働省DMAT事務局, 東京医科歯科大学卒業医学博士  
赤星 昂己 先生



講演会 2024年10月5日(土) 13:00～17:15 (受付開始12:30)

東工大蔵前会館 (東急大岡山駅前) 及び オンライン (Zoom Webinar)

交流会 2024年10月5日(土) 17:15～18:15

東工大蔵前会館 (東急大岡山駅前)

講演会参加費： 無料、 交流会参加費：3,000円 (学生の方は無料)

申込方法： 申込フォームよりお申込みください

[https://www.kuramae.ne.jp/krpe/topics\\_detail29/id=7708](https://www.kuramae.ne.jp/krpe/topics_detail29/id=7708)



申込フォーム

申込期日： 2024年10月3日(木)

会場の席には限りがございます、お早めにお申し込みください

## 「多元レジリエンス研究センターの紹介とその取り組み」

東京工業大学多元レジリエンス研究センター長・教授 吉敷祥一（きしき しょういち）先生



時間軸と空間軸の異なる多元的な災害に対してシームレスに対応できる組織として、2023年4月に多元レジリエンス研究センターが設立されました。また、2024年4月から防災医工連携部門が新設され、防災・減災を軸とした医工連携研究への取り組みも開始しました。本講演では、主に建築物の被害に着目して我が国の自然災害を振り返り、本年1月に発生した能登半島地震における被害調査の結果についても紹介します。

## 「災害時のストレスとケア」

東京工業大学リベラルアーツ研究教育院・教授 永岑光恵（ながみね みつえ）先生



人生において私たちは様々なトラウマを体験します。トラウマは、「非常に強い心的な衝撃を与える体験を経てその体験が過ぎ去った後も体験が記憶の中に残り、精神的な影響を与え続ける、精神的な後遺症」を指します。トラウマ体験の1つに自然災害が挙げられます。日本は世界的に見て自然災害への遭遇度合いが高い国であり、多くの人がそれに伴う心理的苦痛の経験を有しています。しかし、多くの人がトラウマを乗り越えて生きています。それを支えるものにレジリエンス（精神的回復力）があります。

講演では、災害時の心理的变化や回復過程およびケアのあり方についてレジリエンスの観点からご紹介します。

## 「仲間と共に歩むこれからの災害対策～医療の現場からの提案～」

東京医科歯科大学病院・病院長補佐、災害危機管理部・部長 植木穰（うえき ゆたか）先生



被災地の映像を見るたびに、胸が締めつけられ、何かできることはないのかと思う。しかし、その何かを見つけることは容易ではない。能登半島地震派遣に際し、東京工業大学の皆様からたくさんの応援メッセージをいただきました。その中に多くの「統合して同じ大学の仲間になる人たちが現地で奮闘していると聞き、身近に感じました。誇りに思います。」という言葉がありました。これこそ、今回の統合で生み出された、最も純粋で大切にすべき“科学”反応であったと思います。

皆様の高度で先進的な知見、マインドを我々の災害医療と統合できれば、もっと多くの人の命が救える。生活が守れる。そんな希望にあふれた話をしたい。

## 「我が国の災害医療の変遷から考える、その本質とは」

元厚生労働省DMAT事務局、東京医科歯科大学卒業医学博士 赤星昂己（あかほし こうき）先生



日本の災害医療は阪神淡路大震災を契機に災害拠点病院の設置、DMATの創設、広域災害・救急医療情報システム（EMIS）の確立等の体制整備が進められ、以後も、東日本大震災、熊本地震など、数多くの大災害を経験してきた。そしてCOVID-19パンデミックでは自然災害で得られた知見やノウハウがその対応に大きく貢献した。このように日本の災害医療体制は災害を経験する毎に発展を続けている。本講演では災害医療の本質とは何かをご説明し、日本の災害医療対応の変遷を振り返りながら、今後の我が国にあるべき危機管理の姿と実現に向けた課題を考える。

講師の所属等は2024年7月末現在のものです。

最新の情報は蔵前工業会ホームページを参照してください。

[https://www.kuramae.ne.jp/krpe/topics\\_detail29/id=7708](https://www.kuramae.ne.jp/krpe/topics_detail29/id=7708)

